

(株)日特スパークテックWKS二野工場

可児市・製造業

従業員数／男性352名 女性29名 計381名 ※令和6年12月現在

エクセレント
POINT

- ①地域に根差したさまざまな交流や行事を開催
- ②特別支援学校と連携し、職場実習を継続的に受け入れ
- ③豊富で安価なメニューを提供する従業員食堂で健康増進

製造業



工場設立の翌年から主催する小学5年生以下で編成された野球チームが出場する「スパークテックWKS杯」。今では県内全域から40チームが集う規模となった。

自動車等がエンジンを始動させるときに必須のスパークプラグ製造を担う日特スパークテックWKS二野工場では、2014年の工場設立以降、一貫して地域とのつながりを重視。特に24年は工場設立10周年の節目で、ネーミングライツを取得した公園での花火鑑賞会をはじめ複数のイベントに協賛して地域を盛り上げた。

子どもたちに向けては、小学5年生以下で編成された野球チームが出場する「スパークテックWKS杯」を工場設立の翌年から主催。今では県内全域から40チームが集う規模となっている。24年春には、大会を通じて同社のことを知った出場経験者の採用にもつながった。



昼食は4種類から、夕食・夜食は3種類から選ぶことができる従業員食堂。1食200円と格安で多くの従業員が利用する。

地域貢献重視、地元になくてもならない企業へ

子どもたちに向けては、小学5年生以下で編成された野球チームが出場する「スパークテックWKS杯」を工場設立の翌年から主催。今では県内全域から40チームが集う規模となっている。24年春には、大会を通じて同社のことを知った出場経験者の採用にもつながった。

地元の特別支援学校との連携にも注力。もともとは県の特別支援教育部署に障がい者雇用に関する相談をしたのがきっかけだったが、これを機に職場実習を継続的に受け入れる体制づくりへと発展した。さらには職場実習をした特別支援学校の卒業生が24年春に入社、実習のノウハウを応用させ、スムーズなサポートにつながっている。

また、働きやすい職場づくりも進めている。好評なのは、従業員食堂でのメニューで、昼食はA、B定食、井定食、麺定食の4種類から、夕食・夜食はA定食、井定食、麺定食

さらに、近年では男性育休の取得を推進。育休を取得した部長職の男性のインタビューを社内へ展開したり、手引書を作成したりして気兼ねなく取得できる雰囲気づくりを強化している。